

Daily Report (号外)

～FOMCの結果について～

概要

FRB(米連邦準備制度理事会)は、12月12-13日に開いたFOMC(連邦公開市場委員会)で、フェデラルファンド(FF)金利の誘導目標を5.25～5.50%に据え置くことを決定し、3会合連続での利上げ見送りとなりました。

同時に公表された声明文では、前回の声明文から引締めに関する表現に「場合」という文言を追加し、「インフレ率を時間とともに2%に戻すために追加引締めが適切となり得る場合、その程度を決定する上で、委員会は金融政策の累積的な引締めや、金融政策が経済活動とインフレに与える影響の遅効性、経済や金融の情勢を考慮する。」と表現を和らげました。また、最近の指標は経済活動の鈍化を示唆しているとし、特にインフレ率については高い水準にあることを指摘したうえで、過去一年の間に低下したことを認める文言を追加しました。

FOMC参加者の経済見通しでは、2023年実質GDPは、実績値を反映し前回の+2.1%から+2.6%に上方修正された一方、2024年は+1.5%から+1.4%へ小幅に下方修正されました。インフレ率見通し(コアPCEデフレータ)は、前回の+3.7%から+3.2%へ大幅に引下げられ、2024年以降も下方修正されました。失業率は2026年と長期見通しが+0.1%上方修正されました。FF金利予測(ドットチャート)については、2024年末が前回の+5.1%から+4.6%、2025年末が前回の+3.9%から+3.6%に修正され、2024年の利下げ幅を前回の50bpから75bpに拡大する見通しが示されました。

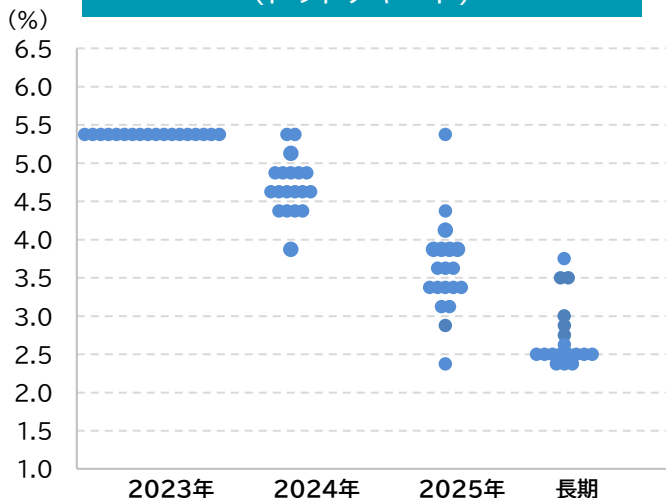
パウエル議長はFOMC後の記者会見で、「インフレ率の低下を歓迎する」と述べ、必要であれば追加引締めの用意があるとしたうえで「政策金利はサイクルのピークあるいはピークに近い」と利上げ局面の終了を示唆しました。また、会合で利下げのタイミングを協議したことを明かすなど将来の利下げについて前向きな姿勢を見せました。景気後退の可能性については明確に否定しました。

図表1 FOMC参加者の経済見通し
(中央値ベース)

	2023年	2024年	2025年	長期見通し
GDP成長率	2.6%	1.4%	1.8%	1.8%
(前回9月)	2.1%	1.5%	1.8%	1.8%
失業率	3.8%	4.1%	4.1%	4.1%
(前回9月)	3.8%	4.1%	4.1%	4.0%
PCEデフレータ	2.8%	2.4%	2.1%	2.0%
(前回9月)	3.3%	2.5%	2.2%	2.0%
コアPCEデフレータ	3.2%	2.4%	2.2%	
(前回9月)	3.7%	2.6%	2.3%	
FFレート(中央値)	5.4%	4.6%	3.6%	2.5%
(前回9月)	5.6%	5.1%	3.9%	2.5%

*GDP成長率、PCEデフレータ、コアPCEデフレータ(長期見通しの記載はなし)は各年10-12月期の対前年比、失業率は10-12月期の平均値、FFレートは各年末ベース
出所:FRB

図表2 FOMC参加者のFF金利予測
(ドットチャート)



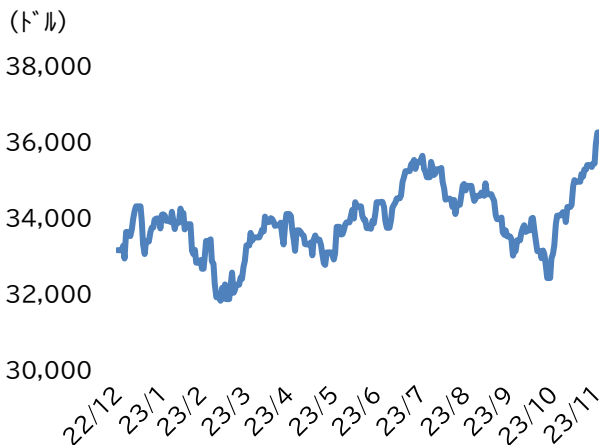
出所:FRBより弊社作成

市場の反応

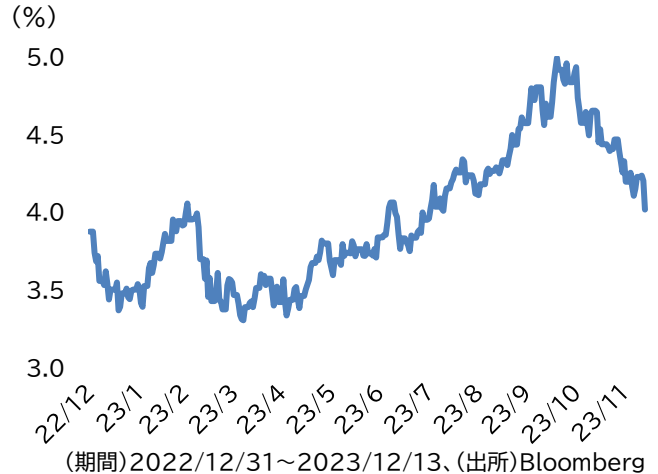
ドットチャートによる利下げ幅拡大により早期利下げ期待が強まったこと、記者会見でもそれらの印象を打ち消すような発言もなかったことから、FRBはハト派転換したとの見方が強まり株式市場は全体的に騰勢を強めました。NYダウの終値は前日比512.30ドル高の37,090.24ドルに上昇し、米10年債利回りは前日比0.18%低い4.02%で終わりました。

為替市場では、ドル円は米10年債利回りの低下により1ドル=145円から1ドル=143円台まで急落し、さらにFOMC終了後の記者会見でのパウエル議長の発言に反応して1ドル=142円台まで一時下落するなど円高ドル安が進行しました。

NYダウの推移



米10年国債利回りの推移



評価及び今後の見通し

政策金利の据え置き決定は市場予想通りであった一方、ドットチャートは予想より低くややハト派に寄っていたことに加え、FOMC終了後の記者会見でもパウエル議長の発言はハト派寄りだったことから、市場は利下げ観測を一層強め、株式や債券にプラスの影響をもたらしました。金融引締めは目標達成に近づいたとの考えが優勢になりつつあり、FF金利先物市場では来年4月ごろから利下げが開始されることが期待されています。一方で、インフレ率は低下基調にあるものの依然高い水準にあり、今後発表されるデータについては引き続き留意する必要があります。

(ご参考)今後の主要イベント

出所:Bloomberg

日程	イベント
12/14	ECB理事会
12/18-12/19	日銀金融政策決定会合
1/30-1/31	FOMC